

社会・文化

経済

政治

WORLD

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 広告を裏読みする
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点―読者の声・編集者の声

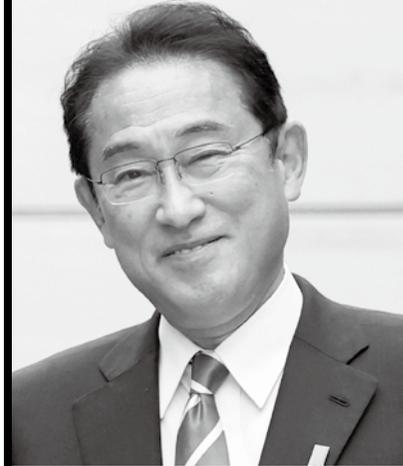
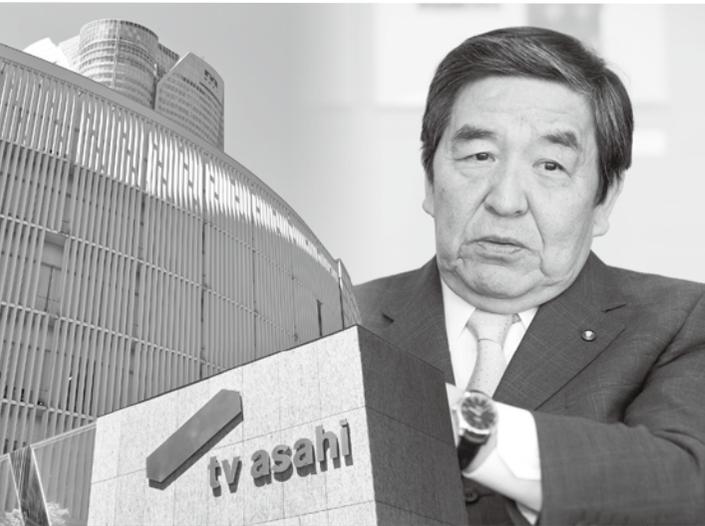


この2年、最大の出番で研究成果も政策提言もほとんどなし。厚生省と一体でカネとポストの確保に専心。多額の研究費を吸いこみながら、我が国の専門家集団は世界と比して、その無能ぶりが際立つ。(110頁)

- 110 **日本公衆衛生学会** ― コロナで最悪の「役立たず集団」
- 108 **石原慎太郎なる「幻影」** ― 作家も政治家も「二流の人」日本のサンクチュアリ ● シリーズ 570
- 106 **コロナ「高齢者入院」の惨状** ― 死者を増やす厚労省の犯罪
- 104 **野生動物都市侵入** という災害 ― アマ被害増加にみる人間の劣勢
- 102 **コロナ鎖国下のクラシック音楽界** ― 救世主となった外国人指揮者たち
- 100 **熊本「半導体誘致」に中国の影** ― 狙われるTSMCの「人材と情報」
- 98 **社会・文化 ● 情報カプセル**
- 88 **皇室の風** ― 岩井克己
- 90 **日本の科学アラカルト**
- 92 **新・大学評判記**
- 94 **本に遇う** ― 河谷史夫
- 96 **をんな千一夜** ― 石井妙子
- 114 **マスコミ業界ばなし**

- 60 米国インフレの「最悪シナリオ」 ― 近づく「景気後退」の足音
- 62 「ガソリン補助金」に漂う腐臭 ― 業界支援と「選挙対策」に消える税金
- 64 **三井物産の桎梏「ロシア事業」** ― 米国制裁で高転びの瀬戸際
- 67 **連載** (クローブ・アツブ) 齊藤猛 (NEOSホールディングス次期社長) ― 脱石油には縁遠い「三杉森」
- 68 **連載** (企業研究) **テレビ朝日** ― 不祥事続発「社長解任劇」の深層
- 72 **株式非公開化「MBO」に潜む罠** ― 虎視眈眈と狙うファンドたち
- 74 **経済 ● 情報カプセル**
- 78 **連載** (地方金融の研究) 石巻信用金庫 ― 被災地に迫る「多重債務問題」
- 80 **塩野義「コロナ治療薬」の危うさ** ― 政治的「特例承認」は無理筋
- 82 **東京電力「十二年目の能天気** ― 福島復興は「忘却」の彼方
- 84 「任組債」大損で震える投資家 ― 悪質「売り手」に迫る訴訟ラッシュ
- 86 村上ファンドの止まらぬ「猛威」 ― 物言う株主が着火する企業再編

放送界の「不祥事のデパート」。突如の社長解任は「クーデター説」が濃厚だ。スポーツ局にはさらなる「爆弾」の噂も。報道機関がモラル決壊した原因は明瞭。ドン・早河の長期独裁。これに尽きる。(68頁)



コロナ第6波とウクライナ危機がありながら、政治は何をしているのか。世界を揺るがす有事で、また日本は後手後手。「外交の岸田」が聞いて呆れる。政権維持しか頭になく、乱世に向かない鈍重な宰相。(48頁)

- 44 **政治 ● 情報カプセル**
- 46 **国家安全保障局の「機能不全」** ― 発足八年で「無用の長物」に
- 48 **有事で呑気な岸田文雄** ― コロナとウクライナで「無為無策」
- 52 **連載** (政界スキャンダル) 動き出した大宏池会「包囲網」
- 54 **岸田「媚ロシア外交」の国恥** ― 米欧の逆を行く「軟弱路線」
- 56 **宏池会恒例の醜い「内輪もめ」** ― 岸田を悩ます自派閥の悪弊
- 58 **連載** (罪深きはこの官僚) 佐原康之 (厚労省健康局長) ― 感染症法改正阻止した奸物

● 特別レポート

暴君の「狂気」に屈する米欧

― ウクライナ「見殺し」のこの先

- 3 連載 巻頭インタビュー) ボリス・アークエニン ― ロシアは再び崩壊へと向かう
- 6 **米共和党を乗っ取る「トランプ派」** ― 中間選挙に「陰謀論者」が大量出馬
- 12 **E.U.官僚「独善強硬」に渦巻く批判** ― 欧州民主主義「危機」の根源
- 16 **次はベラルーシ「核配備」危機** ― プーチンの「米欧恫喝」が加速
- 18 **WORLD ● 情報カプセル**
- 22 **プーチン「密室会議」が生む恐怖** ― ウクライナ暴挙の「四悪人」
- 24 **メキシコ大統領と麻薬組織の「蜜月」** ― 中米を支配する「黒社会」の戦慄
- 28 **サウジとU.A.Eの深刻な「不和」** ― アラブ産油国の秩序に「異変」
- 30 **韓国の出口なき「反中世論」** ― 半島国家の悲哀と限界
- 32 **日台関係を揺るがす「TPP問題」** ― 岸田政権は蔡英文を見捨てるのか
- 34 **結び露わの中国「二帯一路」** ― 「真珠の首飾り」は壮大な画餅か
- 36 **中国「食料自給戦略」の衝撃** ― 米中対立で世界に波及する難題
- 38 **連載** (現代史の言霊) 三月の幽霊 ― トランスニストリア「独立戦争」(一九九二年)

民主主義陣営は武力による現状変更を止められない。「プーチンの狂気」が突き付けた現実だ。結束を連呼する西欧を「集団的無力感」が覆う。中露の恫喝外交は、今後一段と大胆かつ悪質化していく。(6頁)

